

いつまでもお元気で

敬老の日には、高齢者を敬い、長寿を祝うとともに、福祉について関心を深め、高齢者の生活を図ろうという気持ちが込められています。

今年は9月19日が敬老の日。この日は町内あちこちの地域で高齢者をいたわり励ます行事や、周囲の人たちで「敬老」に感謝する行事が行われました。

敬老訪問

多年にわたり、社会のために尽力されてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う敬老訪問が9月15日から20日まで行われました。初日から、川添健町



長生園で敬老祝い金を手渡す川添健町長↑

長や民生委員、役場関係者が90歳以上の高齢者宅を訪問しました。養護老人ホーム長生園では、川添町長が「お元気で長生きしてください」と声をかけ、入所者に町からの祝い金を手渡しました。

敬老会

敬老の日にあわせて、9月18日から19日にかけて、町内各地で地域ぐるみの運動会や敬老会がありました。

運動会では、子どもから高齢者までが集まり、いろいろな競技で汗を流し、楽しいひとときを過ごしていました。敬老会では、地元の人たちで郷土芸能や歌、踊りを披露。子どもたちはおじいちゃん、おばあちゃんに絵や手紙



↑本町AL T（右）による三味線



↑首飾りをかけられて喜ぶ高齢者

を贈り長寿を祝いました。城川内自治公民館（瀬ノ口良信館長）では、本町AL Tのザッカリが三味線を披露し、知っている曲が始まると一緒に口ずさんでいました。幣串自治公民館（池田卓男館長）では、子どもらが首飾りを準備。ひとりひとり首にかけてあげると「きれいなプレゼントをありがとう」と喜んでいました。